

## 上海蔵書楼に残る戦時「女子手紙の書き方」本の ジェンダーを考える

河崎みゆき

上海市にある上海蔵書楼は、上海図書館の別館で、1949年の新中国成立時に列強各国が帰国していく中で残していった外国語の書物を保存している。その所蔵された資料の中の日本語書籍目録を見ると、女子用国語読本や女子作文といった大正時代から第二次大戦中にかけての女学校の教科書と思しきものが数多く残されていることがわかる。第二次世界大戦中、上海にはピーク時10万人の日本人が住んでおり、小学校が十数校、商業学校、女学校があったため、そうした学校で使用された教科書または各学校図書館の所蔵の実用書であったと考えられる。

日本語とジェンダーの研究において、その研究の多くははなしことばの研究であり、『日本語とジェンダー』（2006）や本学会誌においても書きことばについては Kubota (2011) “Japanese Gender Ideologies and Letters — Female Writing and Its Historical Changes” や、築ら（2005）の Eメールの研究、また佐藤（2009）や佐々木（2009）など物語の中のことばとジェンダー研究が発表されているが、「手紙の書き方」本におけるジェンダーの問題を扱った研究は見当たらない。

本発表は、この日本の国会図書館には所蔵されておらず、上海において散逸を免れた「手紙の書き方」本の内容を報告する一方で、「戦時中の手紙文」という特殊な書きことばに現れるジェンダー（どう書きなさい）を検討することにより、日本語とジェンダー研究及び歴史社会言語学研究に資することを目的とした。歴史社会言語学とは、過去の特定の時代の言葉や時間の流れの中で生じた言語変化を、その時代の歴史社会的な現状と関連付けて理解し、再構築しようとする言語研究の一分野である（高田ら 2015）。

具体的には、上海図書館蔵書楼に残された、「手紙の書き方」本のうち、太平洋戦争の始まる前後、昭和15、16年発行の3冊の「手紙の書き方本」1.『現代女子書翰文』（昭和15年）、2.『現代模範女子手紙文』（昭和16年）3.『青年書簡読本』（昭和16年）の目次やその構成、模範文、また書き方のコメントなどから、「手紙の書き方」本においてどのようにジェンダーロールが女性に押し付けられているかといったことを探った。内容構成では「手紙の書き方」本の唯一の先行研究・三村（2014）の指摘のあるように、例文、規範という内容が3点ともにあることがわかった。戦局を反映して、3点ともに入営祝や戦地の兵士への慰問文があるが、そこでの中心的な思想を表す「銃後」と「戦う立場」の違いがあるが、双方に「お国のための名誉の戦死」といった軍国主義政策からの誘導があることが見て取れる。また一方で戦時下であっても女子用である1.『現代女子書翰文』と2.『現代模範女子手紙文』には伝統的な贈答文が数多く収録されていること、3.『青年書簡読本』には「戒め文」があること、などの特徴のあることがわかった。

今回はまず、上海図書館蔵書楼に残る資料としての「手紙の書き方」本を報告するという立場に立っているが、今後、国会図書館所蔵本ともつき合わせ、「手紙の書き方」本という実用書の中でジェンダーロールがどう教えられているかに注目し、書きことばに刷り込まれたジェンダーという問題を考えていきたい。ことばとジェンダーの歴史を振り返ることは、戦争という愚かな歴史を繰り返さないためにも有効であると考えます。

## 【参考文献】

- 浅沼アサ子（1981）「戦時下の女子教育Ⅱ——高等女学校家庭科と関連して」、『東京家政学院大学紀要』21号，pp. 13-22.
- 安藤魁（1941）『青年書簡読本』，ささき書房.
- 後藤康行（2011）「戦時下における軍事郵便の社会的機能——メディアにおけるイメージの視点からの考察——」、『郵政資料館研究紀要』第2号，pp. 55-74.
- Kubota, Nobuo (2011) “Japanese Gender Ideologies and Letters — Female Writing and Its Historical Changes”, 『日本語とジェンダー』11号，pp. 64-74.
- 佐藤勢紀子（2009）「優婆夷（うばい）のジェンダー——浮舟はなぜ沈黙を通じたか——」、『日本語とジェンダー』9号，pp. 60-63.
- 高田博行，渋谷勝巳，家入葉子他（2015）『歴史社会言語学入門——社会から読み解くこと

上海蔵書楼に残る戦時「女子手紙の書き方」本のジェンダーを考える（河崎みゆき）

ばの移り変わり』, 大修館書店.  
日本語ジェンダー学会編 (2006) 『日本語とジェンダー』, ひつじ書房.  
三村矢泰一 (2014) 『『手紙の書き方』本の研究』, 東北大学機関リポジトリ.  
築晶子・大木理恵・小松由佳 (2005) 「ジェンダーの視点から見た断りの E メール」, 『日本語とジェンダー』 5号, [http://www.gender.jp/journal/no5/7\\_note.html](http://www.gender.jp/journal/no5/7_note.html)  
市山萬次郎 (1940) 『現代女子書翰文』, 荘文社.  
山口梧郎 (1942) 『現代模範女子手紙文』, 泰光堂.

(かさわき みゆき・國學院大学非常勤講師)